

Live Viewer(Mac OS 版)

操作説明書

日立コンシューマエレクトロニクス(株)

R1.10.0213

目次

1. 主な機能	3
1.1 ネットワークプレゼンテーション	3
1.2 ネットワーク接続	4
2. 使用方法.....	5
2.1 ネットワークプレゼンテーションの概要	5
2.2 Live Viewer のインストール	6
2.3 ネットワーク接続	9
2.4 パスコード接続[らくらく接続]	12
2.5 履歴	14
2.6 手動設定	15
2.7 接続確認	19
2.8 メイン画面の説明	22
3. 故障かな？と思ったら	27

- ・ Macintosh, Mac OS X, AirMac は、Apple Inc. の登録商標です。
- ・ その他の会社名、商品名は各社の商標、又は登録商標です。

ご注意

- ・ 本ソフトウェアは無償配布ソフトウェアです。本ソフトウェアに係ることによって発生した問題については一切の責任を負いません。
- ・ 本ソフトウェア及び本ソフトウェアを用いたもので、国際平和及び安全の維持を妨げる行為には使用しないものとします。

1. 主な機能

Live Viewer はネットワーク機能を利用した快適なご利用環境を提供いたします。

LAN ケーブルでネットワークに有線または無線で接続すると、ネットワーク経由で、プロジェクターの遠隔操作や、PC の画像をプロジェクターに送信、表示させることができます。

1.1 ネットワークプレゼンテーション

Live Viewer をお使いになると、映像信号のケーブルが不要な、“ネットワークプレゼンテーション”が可能です。

Live Viewer が PC の画面をキャプチャし、ネットワーク(有線 LAN または無線 LAN 接続)を介してプロジェクターに送信、表示します(図 1.1.a)。また、1 台のプロジェクターで、最大 4 台までの PC の画面を表示することができます。

詳細は、「2. ネットワークプレゼンテーションの概要」(P5)をご参照下さい。

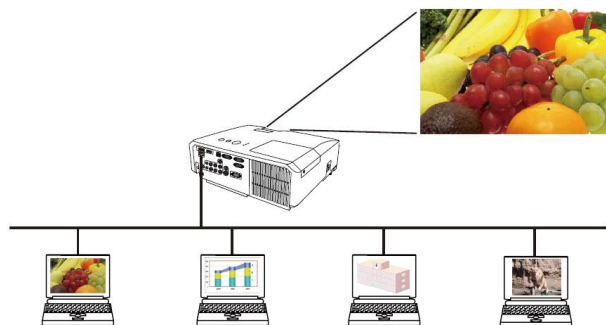


図 1.1.a ネットワークプレゼンテーション



図 1.1.b Live Viewer メインメニュー

1.2 ネットワーク接続

Live Viewer では、プロジェクターを簡単にネットワークに接続するための便利なオプションをいくつかご用意しています。ご使用のネットワーク環境に合わせてご利用下さい。

詳細は、「2.3 ネットワーク接続」(9)をご参照下さい。

■リスト選択

すでに同じネットワーク上にある(ネットワークアドレスが同じ)プロジェクターと PC を接続する場合には、Live Viewer の画面に表示されるリストから目的のプロジェクターを選択するだけで、接続することができます。

■ パスコード入力 [らくらく接続]

パスコードは、プロジェクターの IP アドレスなど、ネットワーク接続に必要な情報を含む 12 桁の記号です。プロジェクターの画面に表示されたパスコードを Live Viewer の画面に入力すると、プロジェクターをネットワークに接続することができます。

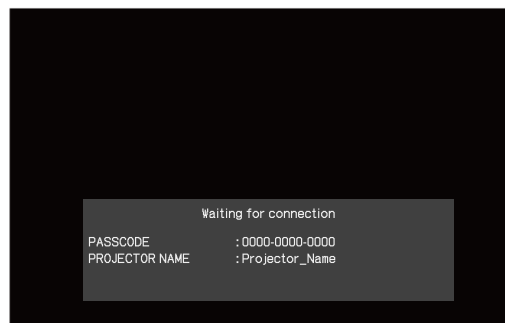


図 1.2 パスコードの表示画面

■履歴選択

一度 Live Viewer を使用してネットワークに接続したプロジェクターは、設定データが接続履歴として記録されます。リストから履歴を選択するだけで、ネットワークに接続することができます。

2. 使用方法

本章では、快適なプレゼンテーションをご利用いただくための準備と手順、Live Viewer の便利な機能とご使用方法などを説明します。

2.1 ネットワークプレゼンテーションの概要

便利な機能 <表示モード(マルチ PC モード)>

シングルモードとマルチモードの2つの表示モードがあります。

シングルモードは、1台の PC 画面をプロジェクターの投写画面全体に表示します。(図 2.1.1.a)

マルチモードは、分割されたプロジェクターの投写画面に、最大4台までの PC の画面を同時に表示します。(図 2.1.1.b)

表示モードは、Live Viewer のメイン画面(図22)から、もしくはプロジェクターの「ネットワーク」メニュー「プレゼンテーション」-「マルチ PC モード」で変更できます。

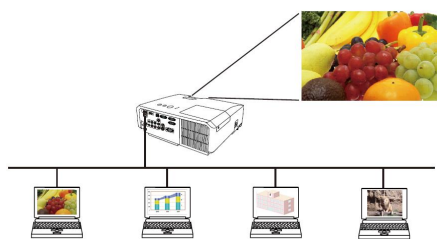


図 2.1.a シングルモード

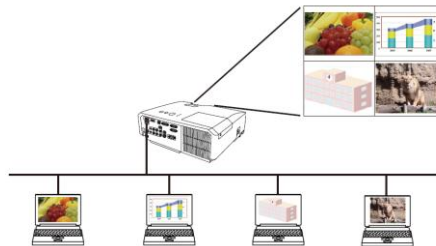


図 2.1.b マルチモード

便利な機能 <プレゼンターモード>

シングルモードでプレゼンテーションをしている間、プロジェクターの投写画面を1台の PC で占有し、他の PC からの割り込みを防止することができます。この機能を使用すると、プレゼンテーション中に誤って別の PC 画面が表示され、プレゼンテーションを邪魔されることがなくなります。

プレゼンターモードは、Live Viewer のオプション画面(図26)から設定することができます。また、プロジェクターの「ネットワーク」メニュー「プレゼンターモード解除」で、もしくは Web ブラウザからプレゼンターモードを解除することもできます。

便利な機能 <ユーザー名表示>

ユーザー名を Live Viewer に登録しておけば、プロジェクターの投射画面にユーザー名を表示させることができ、どの PC の画面が表示されているかを区別することができます。

ユーザー名は、Live Viewer のオプション画面(図26)から登録、表示設定することができます。また、プロジェクターの「ネットワーク」メニュー「ユーザー名表示」でユーザー名の表示／非表示を設定することもできます。詳細はプロジェクター本体の取扱説明書をご参照ください。

2.2 Live Viewer のインストール

ここでは、Live Viewer のインストール方法について説明します。

PCに必要なハードウェアとソフトウェアの最小条件

- OS : Mac OS X v10.5(Intel)
Mac OS X v10.6(Intel)
Mac OS X v10.7(Intel)
Mac OS X v10.8(Intel)
※このソフトウェアは、PowerPC の Macintosh には対応していません。
- CPU : 1.8GHz以上の Intel Core プロセッサ
- ディスプレイ : VGA 640x480 以上 (推奨 XGA 1024x768)、65,536 色表示以上

お知らせ ●PC の解像度はプロジェクタの解像度に設定したほうがパフォーマンスが上がります。

- OS のバージョンやネットワークアダプタドライバによっては、PC とプロジェクタの間で正常に通信が出来ない、あるいは画像を適切に送信できないことがあります。OS とドライバは最新バージョンをご使用ください。
- PC のハードウェアはご使用のOSでの最小推奨条件を満たしている必要があります。

- ハードディスク空き容量 : 100MB 以上
- Web ブラウザ : Safari®(4.0 あるいはそれ以降のバージョン)
- LAN 端子

ソフトウェアバージョン

LiveViewerは、プロジェクターに接続するコンピュータ全てにインストールしてください。LiveViewerをコンピュータにインストールする前に、プロジェクターの機種名と、対応するLiveViewerのバージョンを必ず確認してください。機種によって、使用できるLiveViewerのバージョンが異なります。非対応のLiveViewerと組み合わせて使用した場合、正しく動作しません。

LiveViewer バージョン	機種名		
	Group D	Group E	Group F
	CP-X2011N ED-X45N CP-X2511N CP-X3011N CP-X4011N CP-WX3011N CP-X4021N CP-WX4021N CP-X5021N CP-AW250N CP-A220N ED-A220N CP-A300N iPJ-AW250N 他	CP-X2514WN CP-X3014WN CP-X4014WN CP-WX3014WN CP-X2021WN CP-X2521WN CP-X3021WN CPX10WN CPX11WN CPWX12WN 他	CP-X2015WN CP-X2515WN CP-X3015WN CP-X4015WN CP-WX2515WN CP-WX3015WN 他
1.00	✓	-	-
1.01	✓	✓	-
1.10	✓	✓	✓

LiveViewerのアップデート

最新バージョンのLiveViewerは、日立のWebサイトからダウンロードすることができます。

URL: <http://www.hitachi-america.us/digitalmedia/>
<http://www.hitachidigitalmedia.com/>
<http://www.hitachi-dm.cn/>
<http://www.hitachi.co.jp/proj/>

2.2 Live Viewer のインストール（つづき）

インストール手順

- 1) Webから、“LiveViewerForMacOS.dmg” をダウンロードします。
- 2) “LiveViewerForMacOS.dmg”のディスクイメージが画面に表示されます。
- 3) “LiveViewerForMacOS.dmg”のディスクイメージ内の“LiveViewerForMacOS.pkg” をダブルクリックします。
- 4) インストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

お知らせ

- インストールが正常に終了すれば、指定したフォルダに「Live Viewer」が表示されます。
- 名前とパスワードを入力する画面が表示された場合、管理者の名前とパスワードを入力してください。

2.3 ネットワーク接続

Live Viewer を使用したネットワーク接続には、何通りかの方法があります。ネットワーク接続の大まかな流れは、以下の通りです。どの接続手順を使用するかは、ご使用のネットワーク環境に合わせて選択してください。

Live Viewer を起動する (19)



接続方法を選択する (10)

・リスト選択 → [接続確認へ](#)

・履歴リストから選択する → [接続確認へ](#)

・パスコード接続[らくらく接続] → [パスコードを入力する](#) (13) → [接続確認へ](#)

└ 手動設定



ネットワーク接続モード(アダプタ)を選択する。(手動入力) (15)

└ 無線 LAN

└ 有線 LAN



ネットワーク設定データを入力する。 (17)

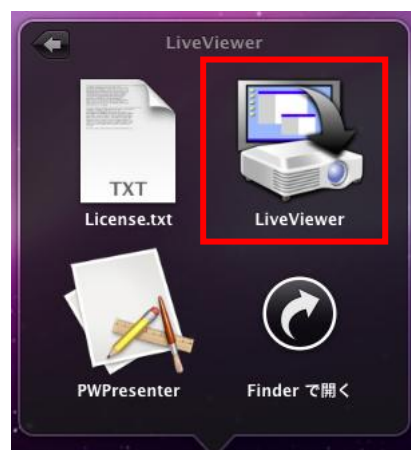


[接続確認へ](#)

次項以降、Live Viewer を使用した接続手順について説明します。

Live Viewer を起動する

インストール時に作成したフォルダから LiveViewer を選択してください。



2.3 ネットワーク接続（つづき）

接続方法を選択する

右の接続方法選択ウィンドウが表示されます。
ご利用のネットワーク環境に合わせて、お好みの方法を
以下から選択してください。



■“リスト選択”

すでにご使用の PC と同じネットワークに接続されているプロジェクターに接続する場合は、“リスト選択”を選択(ラジオボタンをオン)し、目的のプロジェクターをリストから選択して[接続]をクリックしてください。接続処理を開始します。「2.7 接続確認」(19)にしたがって、接続確認を行ってください。

お知らせ

●ネットワークの使用状況によっては、プロジェクターが自動検索で検出されず、リストに表示されない場合があります。その場合は[検索]をクリックし、再検索してください。

■“パスコード”接続

パスコードを使用する場合は、“パスコード”を選択(ラジオボタンをオン)し、[次へ]をクリックしてください。
「2.4 パスコード接続[らくらく接続]」(12)にしたがって、パスコードを入力してください。


■履歴

手動設定方法選択ウィンドウで“履歴から選択する”を選択(ラジオボタンをオン)し、リストから目的の設定データを選択してください。データを選択後、[接続]をクリックすると、プロジェクターとの接続処理を開始します。
「2.7 接続確認」(19)にしたがって、プロジェクターとの接続確認を行ってください。

お知らせ

- 1つのネットワークアダプタに対して、最大 10 個の接続履歴が記録されます。履歴が 10 個を超えた場合、接続した日時の古いものから順に新しい接続履歴に置き換えられます。
- 接続した日時と設定データの情報は、プロジェクターと接続した時点で更新されます。
- 履歴リストを使用する場合、プロジェクターの「ネットワーク」メニューの「セットアップ」で「DHCP」を「オン」に設定していると、IP アドレスの割り当てが変更されるために接続できないことがあります。履歴リストを使用する場合には、プロジェクターの「DHCP」を「オフ」に設定してください。詳細はプロジェクター本体の取扱説明書をご参照ください。

■“手動設定”

ネットワークの設定データをプロファイルリストから選択する、接続履歴リストから選択する、ネットワークの設定を手動で入力する場合は、“手動設定”を選択(ラジオボタンをオン)し、[次へ]をクリックしてください。
「2.6 手動設定」( 15)にしたがって、各手順での設定を行ってください。

2.4 パスコード接続[らくらく接続]

パスコードについて

パスコードは、プロジェクターの IP アドレスなど、ネットワーク接続に必要な情報を含む、数字とアルファベットを組み

合わせた 12 桁の記号です。パスコードを入力することにより、本機とコンピュータを簡単に接続することができます。

パスコードは本機の投写画面に表示されます。次項を参考に、本機のメニューからパスコードを表示させて確認してください。

パスコードの確認

本機の使用状況によって、手順1と2のどちらかの方法でパスコードを確認してください。

手順1

- 1) 本機の電源を入れてください。
- 2) 入力ソースの中から LAN を選択してください。
- 3) LAN 端子に映像信号を入力していない場合は、初期画面にパスコードが表示されます

手順2


- 1) 本機の電源を入れてください。
- 2) 詳細メニューを表示させ、「ネットワーク」メニューから「インフォメーション」を選択してください。
- 3) 「ネットワーク__インフォメーション」ダイアログにパスコードが表示されます

お知らせ


- プロジェクターと PC の接続がない状態が 5 分間続くと、パスコードが変更されます。
- 詳細はプロジェクター本体の取扱説明書をご参照ください

2.4 パスコード接続[らくらく接続]（つづき）

パスコードの入力

「2.3 ネットワーク接続」－「接続方法を選択する」
（10）の、接続方法確認ウィンドウで“パスコード”を選択後、右のパスコードの入力ウィンドウが表示されます。
前項で確認した 12 桁のパスコードを、4 桁ずつ 3 つのボックスに入力してください。

（例）PASSCODE: 1234 - 5678 - 9ABC

パスコードの入力後、[接続]をクリックすると、プロジェクターとの接続処理を開始します。「2.7 接続確認」
（19）にしたがって、プロジェクターとの接続確認を行ってください。



お知らせ

- パスコードを入力する際に、大文字と小文字の区別はありません。

パスコードを入力して接続する際に、確認事項、あるいは問題がある場合は、以下のようなウィンドウが表示されます。

■入力したパスコードが間違っている場合

右のパスコード入力エラーウィンドウが表示されます。

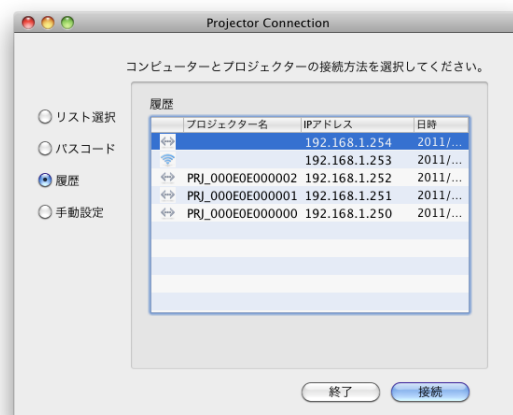
前項にしたがって、再度パスコードを確認し、パスコード入力ウィンドウでパスコードを入力しなおしてください。

[OK]をクリックすると、パスコード入力ウィンドウに戻ります。



2.5 履歴

手動設定方法選択ウィンドウで“履歴から選択する”を選択(ラジオボタンをオン)し、リストから目的の設定データを選択してください。データを選択後、[接続]をクリックすると、プロジェクターとの接続処理を開始します。「2.7 接続確認」(19)にしたがって、プロジェクターとの接続確認を行ってください。



お知らせ

- 1つのネットワークアダプタに対して、最大 10 個の接続履歴が記録されます。履歴が 10 個を超えた場合、接続した日時の古いものから順に新しい接続履歴に置き換えられます。
- 接続した日時と設定データの情報は、プロジェクターと接続した時点で更新されます。
- 履歴リストを使用する場合、プロジェクターメニューの「セットアップ」で「DHCP」を「オン」に設定していると、IP アドレスの割り当てが変更されるために接続できないことがあります。履歴リストを使用する場合には、プロジェクターの「DHCP」を「オフ」に設定してください。 詳細はプロジェクター本体の取扱説明書をご参照ください。
- パスコード接続や手動設定による接続を行った場合、履歴リストのプロジェクター名は空欄になります。ご注意ください。

2.6 手動設定

「2.3 ネットワーク接続」-「接続方法を選択する」(図10)の、接続方法確認ウィンドウで“手動設定”を選択後、手動設定方法選択画面が表示されます。お好みの方法を以下から選択してください。



[戻る]をクリックすると、接続方法確認ウィンドウに戻ります。

2.6 手動設定（つづき）

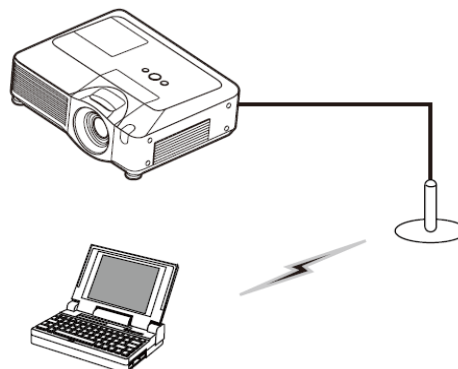
ネットワーク設定を手動入力する

手動設定方法選択ウィンドウで“ネットワーク設定を手動入力する”を選択(ラジオボタンをオン)し、[次へ]をクリックしてください。

表示されるウィンドウ、入力する項目は、プロジェクターと PC の接続形態によって、以下のように異なります。

2.6 手動設定（つづき）

■無線 LAN アダプタを選択した場合<INFRASTRUCTURE モード>



INFRASTRUCTURE
アクセスポイントとプロジェクター間: 有線 LAN
アクセスポイントと PC 間: 無線 LAN

アクセスポイントを経由する、INFRASTRUCTURE モードを使用する場合は、右のワイヤレス接続設定ウィンドウが表示されます。プロジェクターからアクセスポイントまでの接続が有線 LAN でも無線 LAN でも、設定する項目は同じです。

“SSID”、“暗号方式”、“暗号キー”には、アクセスポイントの設定を入力し、“接続モード”は“Infrastructure”を選択してください。

(例) SSID : wireless
暗号方式 : WEP
暗号キー : *****
接続モード : Infrastructure

“IP アドレス”にはプロジェクターの IP アドレス、“サブネットマスク”にはプロジェクターのサブネットマスクを入力してください。

(例) IP アドレス : 192.168.1.254
サブネットマスク : 255.255.255.0

設定を入力後、[接続]をクリックすると、プロジェクターとのワイヤレス接続処理を開始します。「2.7 接続確認」

(19)にしたがって、プロジェクターとの接続確認を行ってください。

お知らせ

- アクセスポイントの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。
- プロジェクターのネットワーク設定は、「ネットワーク」メニューの「インフォメーション」で確認してください。詳細はプロジェクター本体の取扱説明書をご参照ください。
- 暗号を使用する場合、プロジェクターに設定されている暗号キーは、ネットワーク管理者に確認してください。入力された暗号キーは、全て“●”で表示されます。

2.6 手動設定（つづき）

■有線 LAN を設定した場合

有線 LAN でプロジェクターと PC を接続する場合は、右の IP アドレス入力ウィンドウが表示されます。プロジェクターの“IP アドレス”と“サブネットマスク”を入力してください。

（例）IP アドレス : 192.168.1.253

 サブネットマスク : 255.255.255.0

設定を入力後、[接続]をクリックすると、プロジェクターとの接続処理を開始します。「2.7 接続確認」(19)にしたがって、プロジェクターとの接続確認を行ってください。



お知らせ

●プロジェクターのネットワーク設定は、「ネットワーク」メニューの「インフォメーション」で確認してください。詳細はプロジェクター本体の取扱説明書をご参照ください。

2.7 接続確認

2.7.1 接続完了と画面の送信

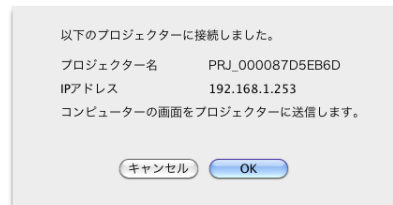
プロジェクターと接続できた場合は、接続完了の確認画面が表示されます。
続いて、コンピューターの画面をプロジェクターに送信するかどうかを選択します。

表示メッセージ

以下のプロジェクターに接続しました。

プロジェクター名: (例) PRJ_000087D5EB6D
IP アドレス : (例) 192.168.1.253

コンピューターの画面をプロジェクターに送信します。



送信する場合は [OK]
送信しない場合は [キャンセル]

をクリックします。

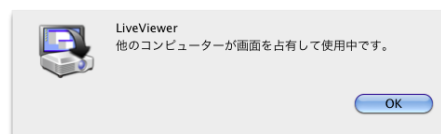
[OK]: コンピューターの画面の送信を開始します。
[キャンセル]: 待機中の状態でメイン画面を表示します。*

- プレゼンターモードによる表示禁止画面が表示された場合
送信先のプロジェクターが別のコンピューターにプレゼンターモード ON で使用されている場合に表示されます。

表示メッセージ

他のコンピューターが画面を占有して使用中です。

[OK]: 待機中の状態でメイン画面を表示します。



プレゼンターモードが OFF されてから再度実行してください。

2.7 接続確認（つづき）

2.7.1 接続完了と画面の送信（つづき）

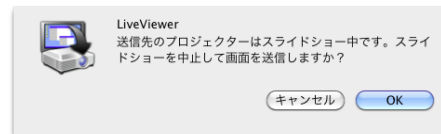
- スライドショー停止確認画面が表示された場合
送信先のプロジェクターがスライドショーを実行している場合に表示されます。

表示メッセージ

送信先のプロジェクターはスライドショー中です。
スライドショーを中止して画面を送信しますか？

停止する場合は [OK]

停止しない場合は [キャンセル]



をクリックします。

[OK]: スライドショーを中止して画面を送信します。

[キャンセル]: 待機中の状態でメイン画面を表示します。

- 入力チャンネル切り替え画面が表示された場合
プロジェクターの入力チャンネルが LAN でない場合に表示されます。

表示メッセージ

プロジェクターの入力チャンネルを LAN に切り替えます。
よろしいですか？

切り替える場合は [OK]

切り替えない場合は [キャンセル]



をクリックします。

[OK]: 入力チャンネルを LAN に切り替えます。

[キャンセル]: 待機中の状態でメイン画面を表示します。

2.7 接続確認（つづき）

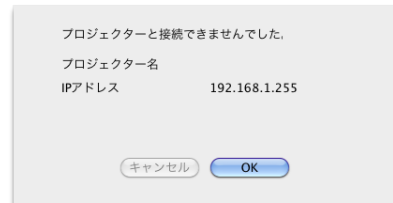
2.7.2 接続エラー

プロジェクターと接続できない場合は、接続エラーの画面が表示されます。

表示メッセージ

プロジェクターと接続できませんでした。

[OK]: 前の画面に戻ります。



2.8 メイン画面の説明

ここでは、Live Viewer のメイン画面について説明します。

2.8.1 ボタンの説明

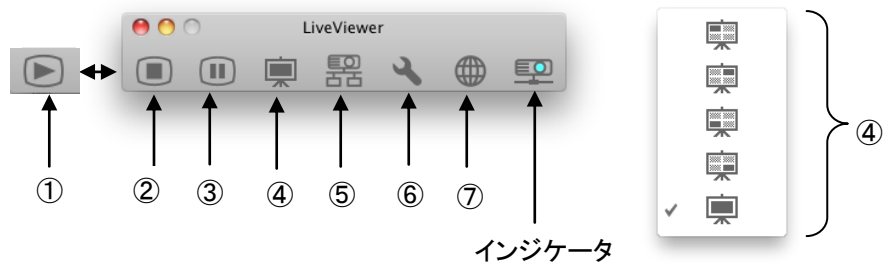


図 2.8.1.a メイン画面

2) 各ボタンの説明

① キャプチャー開始ボタン

コンピューターの画面の送信を開始します。

② 停止ボタン

コンピューターの画面の送信を停止します。

お知らせ ・ キャプチャー開始・停止ボタンをすばやく何度も押した場合には、画面の表示が正常に行われない場合があります。

③ 一時停止ボタン

表示を一時的に停止します。

最後に表示されていた画面を投写画面上に残すことができるため、発表用のファイル修正など、コンピューター上で行う作業を表示せずに行えます。

2.8 メイン画面の説明 (つづき)

2.8.1 ボタンの説明 (つづき)

④ 表示モード切り替えボタン

シングル表示またはマルチ表示の切り替えを行います。表示モードの切り替えと同時に、キャプチャー開始／停止ボタンの機能も併用しています。

⑤ “接続”ボタン

接続方法の選択画面を表示します。(📖10)

⑥ “オプション”ボタン

オプション画面を表示します。(📖26)

⑦ “Web コントロール”ボタン





Web ブラウザを起動し、Web コントロール画面を表示します。詳細はプロジェクター本体の取扱説明書をご参照ください。

2.8 メイン画面の説明 (つづき)

2.8.2 ステータス表示

1) インジケータ

インジケータで以下の接続状態を表示します。

インジケータ	表示内容	特記事項
	未接続	プロジェクターと未接続状態です。
	待機中	プロジェクターとは接続されていますが、コンピューターの画面を送信していない状態です。
	接続中	プロジェクターと接続し、コンピューターの画面を送信している状態です。接続処理中はインジケータが点滅します。
	接続切断	プロジェクターとの接続が切断された場合に表示されます。

接続中にマウスカーソルをインジケータ上に置くと、現在接続しているプロジェクターのプロジェクター名と IP アドレスの設定を確認することができます。プレゼンターモードで使用しているコンピューターには、更に「プレゼンターモード ON」の情報が表示されます。


お知らせ

- ・ 接続中にマウスカーソルをインジケータ上に置くと、現在接続しているプロジェクターのプロジェクター名と IP アドレスの設定を確認することができます。また、現在のプレゼンターモードの状態が表示されます。

2.8 メイン画面の説明 (つづき)

2.8.3 表示モード切替

ここでは、表示モードを切り替える操作方法について説明します。

1. メイン画面の  ボタンをクリックします。
表示モード切り替えボタン(図 3.8.4.a)が表示されます。

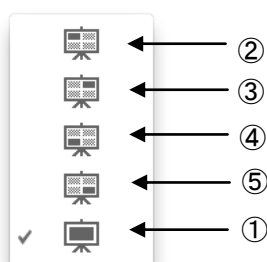




図 2.8.3.a 表示モード切り替えボタン

2. ①～⑤のボタンから表示モードを選択し、クリックします。
マルチ表示ボタン(②～⑤)には表示位置がそれぞれ決められています。
 - ① シングル表示ボタン(投写画面全体に表示)
 - ② マルチ表示ボタン (投写画面の左上に表示)
 - ③ マルチ表示ボタン (投写画面の右上に表示)
 - ④ マルチ表示ボタン (投写画面の左下に表示)
 - ⑤ マルチ表示ボタン (投写画面の右下に表示)
3. プロジェクターの投写画面を選択した表示モードの画面に切り替え、コンピューターの画面を送信します。
4. メイン画面の  ボタンは、選択した表示モードのボタンに切り替ります。

お知らせ ・ マルチ表示を選択すると、プロジェクターの投写画面は自動的に4分割画面に切り替ります。

- ・ シングル表示を行っているコンピューターがプレゼンターモード ON で使用している場合は、他のコンピューターは表示モード切り替えボタンをクリックすることができません。
- ・ マルチ表示で別のコンピューターが画面を送信している表示位置を指定した場合は、先に表示されていたコンピューターはプロジェクターとの接続が切断されます。

( 26)

画面を指定して全画面で表示する

マルチ表示中に、プロジェクター本体のメニューで位置を指定し、指定したコンピューターの画面を投写画面全体に拡大して表示することができます。 詳細はプロジェクター本体の取扱説明書をご参照ください。

お知らせ ・ 画面全体に拡大表示したコンピューターのプレゼンターモードの設定が反映されます。

2.8 メイン画面の説明 (つづき)

2.8.4 オプション画面

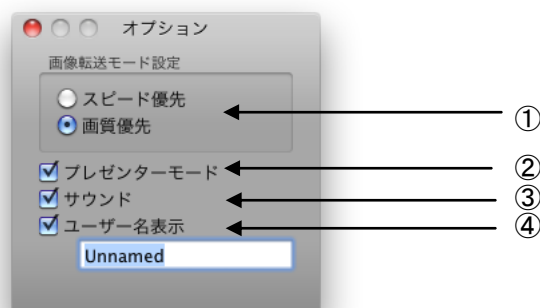


図 2.8.4.a オプション画面

① 画像転送モード設定

Live Viewer はコンピューターの画面をキャプチャし、圧縮データとしてプロジェクターに送信しています。このプロジェクターでは、圧縮率が異なる以下の2つのモードを切り替えて使用することができます。

スピード優先: 圧縮率を上げて送信します。ファイルサイズが小さいので、送信・描画速度は上がりますが、画質はやや低下します。

画質優先: 圧縮率を下げて送信します。ファイルサイズが大きくなるので、送信・描画に時間がかかりますが、表示される画像の画質は良くなります。

② プレゼンターモード

プレゼンターモード ON で使用する場合は、このチェックボックスをチェックします。

お知らせ

- ・ マルチ表示ではプレゼンターモードの設定が無効になります。
- ・ マルチ表示からシングル表示に切り替えた場合、表示されているコンピューターのプレゼンターモードの設定が反映されます。
- ・ デフォルト設定はプレゼンターモード ON です。

③ サウンド(プロジェクター機種グループ: E, F のみ)

パソコンで再生している音声をプロジェクターに転送することができます。音声を転送する場合には、チェックボックスにチェックを付けてください。

④ ユーザー名表示

指定した文字列(半角英数記号 最大 20 文字)をプロジェクターの「ネットワーク」メニュー→「プレゼンテーション」→「ユーザー名表示」で表示することができます。この機能により、ライブモードで投写画面に表示している使用者を確認することができます。詳細はプロジェクター本体の取扱説明書をご参照ください。

3. 故障かな？と思ったら

問題		考えられる原因	チェック事項	参照頁
画像が表示されない		プロジェクターの電源が入っていない。	プロジェクターのランプが点灯していますか？	—
		プロジェクター/スイッチャーの入力端子の設定がLANになっていない。	プロジェクター/スイッチャーの入力端子の設定を確認してください。	—
		スイッチャーに接続されたプロジェクターの入力端子の設定がHDMIになっていない。	スイッチャーに接続されたプロジェクターの入力端子の設定を確認してください。	—
ネットワーク接続	接続したいプロジェクター/スイッチャーがプロジェクター/スイッチャーのリストにない。	コンピューターおよび(または)プロジェクター/スイッチャーのネットワーク設定が正しくない。	コンピューターとプロジェクター/スイッチャーの両方のネットワーク設定を確認してください。プロジェクター/スイッチャーのネットワーク設定を変更した場合は、一度プロジェクター/スイッチャーのAC電源を切ってから再度入れ直してください。プロジェクターをスタンバイ状態にした後に電源を入れ直しただけでは、新しい設定が有効にならないことがあります。	—
	通信できない。	コンピューターおよび(または)プロジェクター/スイッチャーのネットワーク設定が正しくない。	コンピューターとプロジェクター/スイッチャーの両方のネットワーク設定を確認してください。	—
		アクセスポイントを使用していて、コンピューターとアクセスポイントを無線LANで接続している。	コンピューター、あるいはコンピューターで使用している無線LANアダプタのネットワークユーティリティで設定を変更してください。設定方法についてはコンピューターまたはアダプタの取扱説明書を参照してください。	—
	ネットワークプレゼンテーション	マルチ PC モードを使用している。	シングル PC モードを使用してください。	25
		LiveViewer はアニメーションなどのダイナミック画像をフルスピードで中継できない。	オプション画面で画像転送モード設定をスピード優先に設定すると、画質は低下しますが、転送スピードを幾分速くすることができます。	26
		転送時の圧縮率が低すぎる。		

問題		考えられる原因	チェック事項	参照頁
ネットワークプレゼンテーション (つづき)	画像が表示されない。	コンピュータとプロジェクター/スイッチャーの間で正しく通信できていない。	LiveViwer メイン画面のキャプチャ停止ボタンを押して、接続を切断してください。その後、再度メイン画面のキャプチャ開始ボタンを押して再接続してください。 それでも映像が映らず、黒画面になる場合は、LiveViewerを再起動させてください。	22
	プロジェクターの投写画面上の映像の画質が、コンピュータ画面上の映像に比べて粗い。	転送時の圧縮率が高すぎる。	画像転送モード設定を画質優先に設定してみてください。但し、画面の更新スピードが遅くなることがあります。	26

問題		考えられる原因	チェック事項	参照頁
ネットワークプレゼンテーション (つづき)	コンピューターの音声 がプロジェクター/スイ ッチャーから聞こえない。	音声設定がオフになって いる。	オプション画面の音声設定をオンに してください。	
		マルチPCモードを使用し ている。	シングル PC モードを使用してくださ い。	26
		音声転送に非対応の機 種を使用している。	音声転送に対応しているはプロジェ クター/スイッチャー機種グループ： E, F, G の機種のみです。ご使用の プロジェクター/スイッチャーの機種 名とグループを確認してください。	7
		プロジェクター/スイッ チャーの音声設定がミュート、 または、音量設定が小さ くなっている。	プロジェクター/スイッチャーの音声 設定を確認してください。	—
		コンピューターの音声設 定がミュート、または、音 量設定が小さくなってい る。	コンピューターのボリュームコントロ ールでボリュームあるいはミュート の設定を確認してください。	—
		コンピューターとプロジェ クター/スイッチャーの間 で正しく通信できていな い。	オプション画面の音声設定をいった んオフにした後、再度オンに設定し なおしてください。 それでも音声が出力されない場合 は、LiveViewer を再起動させてくだ さい。	26
		上記方法を行っても音声が出力されない場合は、LiveViewer を 再度インストールし直してください。		—

問題		考えられる原因	チェック事項	参照頁
ネットワークプレゼンテーション (つづき)	音声が入切れる	LiveViewer を使用中のコンピュータに対して、周辺機器と HDMI™ ケーブルでの接続あるいは切断を行うことにより、オーディオ設定が変更された。	LiveViewer を一旦終了し、再度起動し直してください。	—
		複数のコンピュータがプロジェクター/スイッチャーと通信している場合などのように、通信帯域が十分に取れていないため、転送速度が低下し、音声の入切れが発生した。	ネットワークの接続環境を確認してください。	—
		<p>USB 機器(USB ストレージデバイス、USB ワイヤレスアダプタ等)をプロジェクター/スイッチャーの USB TYPE A 端子に挿入した。</p> <p>プロジェクター/スイッチャーのファームウェアは、機器挿入直後からドライバの組み込み処理を行い、この間、音声が入切れる場合があります。</p> <p>これに加え、USB ワイヤレスアダプタが SSID を検索している間も音声が入切れる場合があります。USB ワイヤレスアダプタは、無線通信での接続できるまで SSID を繰り返し検索します。</p>	<p>ドライバの組み込み処理が終了するまでしばらくお待ちください。組み込み処理は約 30 秒間かかります。</p> <p>USB ワイヤレスアダプタを挿入した場合は、プロジェクター/スイッチャーの「ネットワーク」-「無線 LAN 設定」メニューの各項目が正しく設定されているかもご確認ください。「無線 LAN 設定」メニューの詳細については、プロジェクター/スイッチャーの取扱説明書をご参照ください。</p> <p>「無線 LAN 設定」での確認項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「モード」 ・「暗号方式」 ・「SSID」 <p>接続先であるアクセスポイントやコンピュータが動作していない場合や、無線設定が不明な場合、無線 LAN を使用されない場合は、USB ワイヤレスアダプタを抜いてください。</p> <p>それでも解決しない場合は、LiveViewer の再接続を行ってください。</p>	—

問題		考えられる原因	チェック事項	参照頁
ネットワークプレゼンテーション (つづき)	コンピュータで音声を再生していないにもかかわらず、プロジェクターの内蔵スピーカーまたはスイッチャーに接続されたスピーカーからノイズが聞こえる。	音声再生ソフトの Mute 機能を用いた。	コンピュータから音声を送らない場合は、LiveViewer の”音声転送”を”オフ”に設定することにより、ノイズを低減することができます。	26
		USB 機器(USB ストレージデバイス、USB ワイヤレスアダプタ等)をプロジェクター/スピーカーの USB TYPE A 端子に挿入した。		
		プロジェクターのアイリスが動作した。	コンピュータから音声を送らない場合は、LiveViewer の”音声転送”を”オフ”に設定することにより、ノイズを低減することができます。 アイリスをご使用にならない場合は、プロジェクターのメニューで「アクティブアイリス」を「オフ」に設定にしてください。 「アクティブアイリス」の詳細に関しては、プロジェクターの取扱説明書を参照してください。	-
その他 - LiveViewerで表示しているプロジェクター/スイッチャーの情報が正しくない。 - プロジェクター/スイッチャーが応答しない - プロジェクターの投写画面が静止したまま動かない。		コンピュータとプロジェクター/スイッチャーの間で正しく通信できていない。 プロジェクター/スイッチャーのネットワーク機能が正常に動作していない。	メイン画面のキャプチャー停止ボタンを押して、再度キャプチャー開始ボタンを押してください。それでも映像が静止している場合は、LiveViewer を再起動させてください。 プロジェクター/スイッチャーの「ネットワーク」-「特別な設定」メニューから、「リスタート」を実行してください。	-